

よっちゃんだより

2012.7月号 vol.35

株式会社 ISO
~いっしょに保険を選びましょう~
余助 康弘
090-1638-5351

暑さも本番突入です。みなさま

どうぞ お身体も大切に大切に



人に与える

「受け取りたいければ、まず与えなさい」という法則があるようです。

このことを聞いて、それは成功しているから言えるんだと言う人もいます。たしかに成功者がよく言っていることです。しかし、成功者のほとんどが成功する前に死んでいることのようにです。ということは、

与えるものが手に入るまで待つという考えは、やめた方がよさそうですよね。

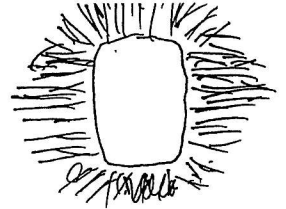
与えるということ、それは将来、受け取りということのようです。

お返しは 思いもよらないところから やってくる とも言われています。

もし、壁にぶつかるときがきたら、その時こそ 与えておけば いかかでしょうかと

変化が起きそうですよね ☺

未来への入口



世の中のほとんどの人が馬区け引きで動いている。つまり、

「損か得か」で動いている。なので 豆原のいい人には勝つわけがない。損得は豆原の時代とも言われています。その豆原の時代は過去の時間といわれて、さまざまなお題も引き起こしています。

そして、これから 100の時代に 移ると言われています。

そこは、心で感じ取れる動く。つまり 失が見えない。

「損か得か」の思考に支配された世界から 頭を切り抜けた世界のようにです。つまり 未来なのです。

新しい家族 ~かめ吉~

息子の 蓮人が お祭りでも びじり亀を持って帰ってきた。はじめは 家族みんなが 「だれか育てるんや」 などと 反対したのだが、息子が 工事もやるし 水も自分で 清掃する というので、納得した。ところが、次の日から 娘の 理緒が 工事も清掃もしているの。どうしたんや? と聞くと 「蓮人が何もせんから」 の一言。そういえば、私も小学生のころ 祭りで ハムスターを買ってきた* 大変なことになったのを思い出した。そう思うと、息子も 私と同じ 道を歩んでいるのかな。今では 「かめ吉」と名付け 家族の一員です。

* 私が買った ハムスターは脱走して、家の柱をかじりました。